

2

地域の発展を目指し 豊橋技術科学大学と連携



握手を交わす白井市長（左）と西永学長（右）

協定書には、具体的な連携・協力の項目として、「地域産業の振興」「生涯学習、文化、福祉の向上、スポーツ、健康づくりの振興」「地域のまちづくり、災害に強いまちづくりなどの推進」「人材の育成」「IT社会、持続可能な社会の構築」などを盛り込んでいます。

田 原市と国立大学法人豊橋技術科学大学は、相互の人的・知的資源の交流と物的資源の活用を図るための協定を結びました。これにより、産業振興、生涯学習、文化、福祉、まちづくりなど多様な分野で連携・協力し、地域社会の発展と人材育成を目指すこととなりました。

3月31日（木）には協定

書の調印式を田原市役所で行い、西永頌学長と白井孝市田原市長が地域発展への貢献を誓い、固く握手を交わしました。今後は地域協議会を設置し、具体的な協力体制の確立や人材交流を図ります。なお同大学は、豊橋市、鳳来町とも同様の協定を結んでいます。

企画課 ☎ 23局3507

3

『環境首都コンテスト』入賞



表彰状を手にする枚本代表（左）と白井市長（右）

「率先行動」「環境学習」「温暖化防止」「ごみ減量化」など17の項目が評価の対象となりました。田原市は主に「地球温暖化防止部門」「住民参画部門」で高得点をマークしました。

全 国11の環境NGO団体などで構成する『環境首都コンテスト全国ネットワーク』主催の同コンテスト第4回（で、田原市が第7位（75自治体中）に選ばれました。このコンテストは、過去5年間の環境行政などの実績を民間の視点で多角的に評価し順位付けしているもので、田

原市の応募は2回目。『たはらエコ・ガーデンシティ構想』を掲げる田原市の環境行政が高く評価されました。4月5日（火）には、同ネットワークの主幹事団体『環境市民』の枚本育生代表が田原市役所を訪れ、白井孝市市長に表彰状を手渡しました。

環境課 ☎ 23局3541